

# 2006年第1四半期決算説明会

---

2006年5月19日

GMOインターネット株式会社  
(東証一部 9449)



すべての人にインターネット1

# 第1四半期決算説明会スケジュール

## 目 次

1. ハイライト
2. 2006年度第1四半期決算概要
3. グループ戦略
4. 事業セグメント別の状況と取組
  - ①インターネット活用支援事業(ネットインフラ事業)
  - ②インターネット集客支援事業(ネットメディア事業)
  - ③インターネット金融事業(ネット金融事業)
5. 業績予想

※本日も説明申し上げるプレゼンテーションは、将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測について、資料作成時点での 弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。世界経済、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや天変地異などの不確定要因により実際の実績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。

# 本説明会の「結論」と「要約」①（全体業績・財務）

## 1.ハイライト

### 2.決算概要

### 3.グループ戦略

### 4.セグメント別の状況と取組

#### ①ネットインフラ事業

#### ②ネットメディア事業

#### ③ネット金融事業

### 5.業績予想

売上高は過去最高を記録、利益はインフラ&メディアが好調も金融事業が過払関連引当金の一括計上の影響を受ける

- 売上高 11,713百万円(前年1Q比+53.0%)  
→売上高は過去最高を記録
- 日本公認会計士協会が平成18年3月15日付けにて公表した審理情報「消費者金融会社等における監査上の留意事項について」を踏まえ、当期より「利息返還損失引当金」(以下過払関連引当金)の計上を行う一方、インフラ事業、メディア事業の収益性は順調に推移した結果、
  - ・営業利益 980百万円(前年1Q比+7.3%)
  - ・経常利益 1,008百万円(同+7.7%)
  - ・最終利益 33百万円(同▲92.7%)
- 通期業績見通しについては、上記影響を織り込み、売上510億円、営業利益65億円、経常利益63.5億円、当期利益22億円に修正
- 銀行借入を原資として、転換社債型新株予約権付社債の償還が完了

# 本説明会の「結論」と「要約」②（セグメント・取組）

## 1.ハイライト

### 2.決算概要

### 3.グループ戦略

### 4.セグメント別の状況と取組

#### ①ネットインフラ事業

#### ②ネットメディア事業

#### ③ネット金融事業

### 5.業績予想

## 各セグメントとも事業進捗は順調

### ■インターネット活用支援事業

売上高 4,027百万円(前年1Q比▲11.8%)、営業利益 662百万円(同▲18.6%)

→前年1Qは特殊要因あり(おとくライン)、実質的には増益

→5大商材(ドメイン・サーバー・カート・決済・セキュリティ)のシェアは更に拡大

→新商材(カート)事業の急速な立ち上がり

### ■インターネット集客支援事業

売上高 3,243百万円(前年1Q比+2.9%)、営業利益 205百万円(同+138.5%)

→JWord事業の収益性拡大が寄与

### ■インターネット金融事業

パーソナルファイナンス(ローン・クレジット)事業は、過払関連引当金一括計上の影響を受ける。

インターネット証券は、順調な立ち上がり

### ■今年度の取組

年初のアクションプランは予定通り進捗、グループシナジーが急速に具現化

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

# 決 算 概 要

## 2006年度第1四半期P/Lサマリー(連結)

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

## 過払関連引当金の一括計上による影響

(百万円)

	2006年度 第1四半期	2005年度 第4四半期	前期比 増減	2005年度 第1四半期	前年同期比 増減
売上高	11,713	11,506	+1.8%	7,657	+53.0%
事業費	3,507	3,368	+4.1%	3,284	+6.8%
販管費	7,224	6,239	+15.8%	3,458	+108.9%
営業利益	980	1,898	-48.3%	914	+7.3%
経常利益	1,008	1,784	-43.5%	936	+7.7%
純利益	33	2,158	-98.5%	456	-92.7%

過払関連引当金  
490百万円

過払関連費用634百万円  
うち過払関連引当金  
410百万円

## 2006年度第1四半期B/S(連結)①

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

## 銀行借入を実施、転換社債型新株予約権付社債310億円全額償還

(百万円)

	2006年度 第1四半期	2005年度 第4四半期	前期比 増減	2005年度 第1四半期	前年同期比 増減
流動資産	53,655	54,506	-1.6%	15,568	+244.6%
現金預金	22,855	24,192	-5.5%	10,977	+108.2%
固定資産	36,927	33,551	+10.1%	13,153	+180.7%
資産合計	90,583	88,057	+2.9%	28,722	+215.4%
流動負債	49,509	56,435	-12.3%	10,966	+351.5%
固定負債	18,946	10,655	+77.8%	668	+2733.9%
負債合計	68,455	67,090	+2.0%	11,635	+488.4%
少数株主持分	4,739	4,684	+1.2%	3,539	+33.9%
純資産	17,387	16,282	+6.8%	13,547	+28.3%

営業貸付金26,990百万円  
未収収益3,571百万円

連結調整勘定16,633百万円  
ソフトウェア2,215百万円

短期借入金30,221百万円  
1年以内返済予定の長期借入金  
10,207百万円

社債4,150百万円

## 2006年度第1四半期B/S(連結)②

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

## ネット金融事業とネット金融事業以外の貸借対照表比較

&lt; ネット金融事業 &gt;

2006年3月末時点

現預金 6,980百万円	有利子負債 24,571百万円
営業貸付金 26,990百万円	
その他資産 5,995百万円	その他負債・資本合計 15,395百万円
資産の部合計 39,967百万円	負債及び資本の部合計 39,967百万円

※オフバランス処理されている営業貸付金は53,300百万円

&lt; ネット金融事業以外 &gt;

2006年3月末時点

現預金 15,874百万円	有利子負債 33,300百万円
有価証券等 36,920百万円	
その他資産 24,495万円	その他負債・資本合計 43,990百万円
資産の部合計 77,290百万円	負債及び資本の部合計 77,290百万円

## 2006年度第1四半期CF(連結)

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

金融事業強化の為、イーバンク銀行へ追加出資(シェア6.4%)  
法人筆頭株主に

(百万円)

		2006年度 第1四半期	2005年度 第4四半期	2005年度 第1四半期
営業キャッシュフロー	法人税1,817百万円の支払い	-1,154	-158	-1,345
投資キャッシュフロー	イーバンク銀行追加株式取得 1,500百万円	-892	-22,733	-1,536
財務キャッシュフロー	ローン・クレジット事業資金調達 及びMPO償還資金として 42,546百万円借入増加 MPO31,000百万円償還	987	34,748	2,309
キャッシュフロー合計		-1,057	11,866	-578
現金等等物の増減		-487	11,883	-578
現金等等物の残高		22,715	23,202	10,740

# 売上高及び営業利益

連結売上高は過去最高。営業利益は、金融事業の過払関連引当金の一括計上による影響を受ける

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

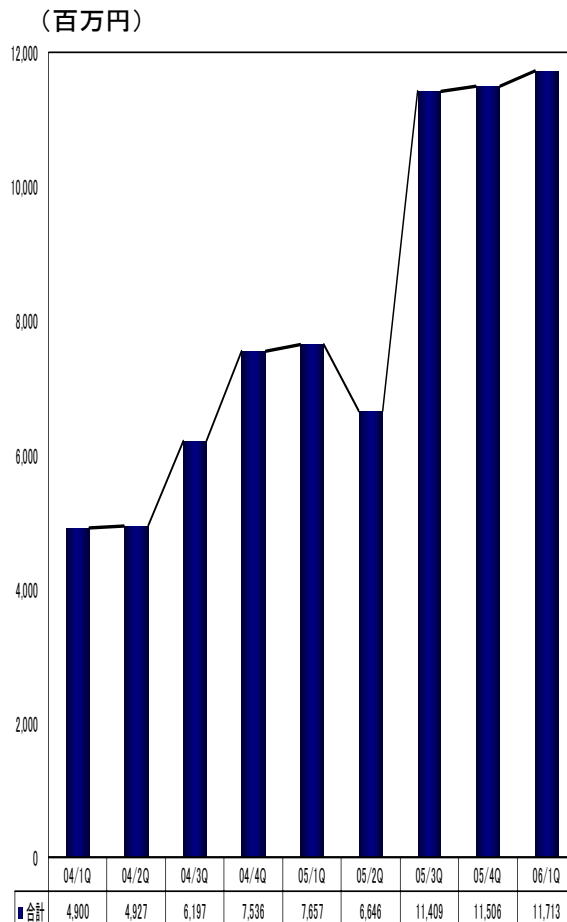
①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

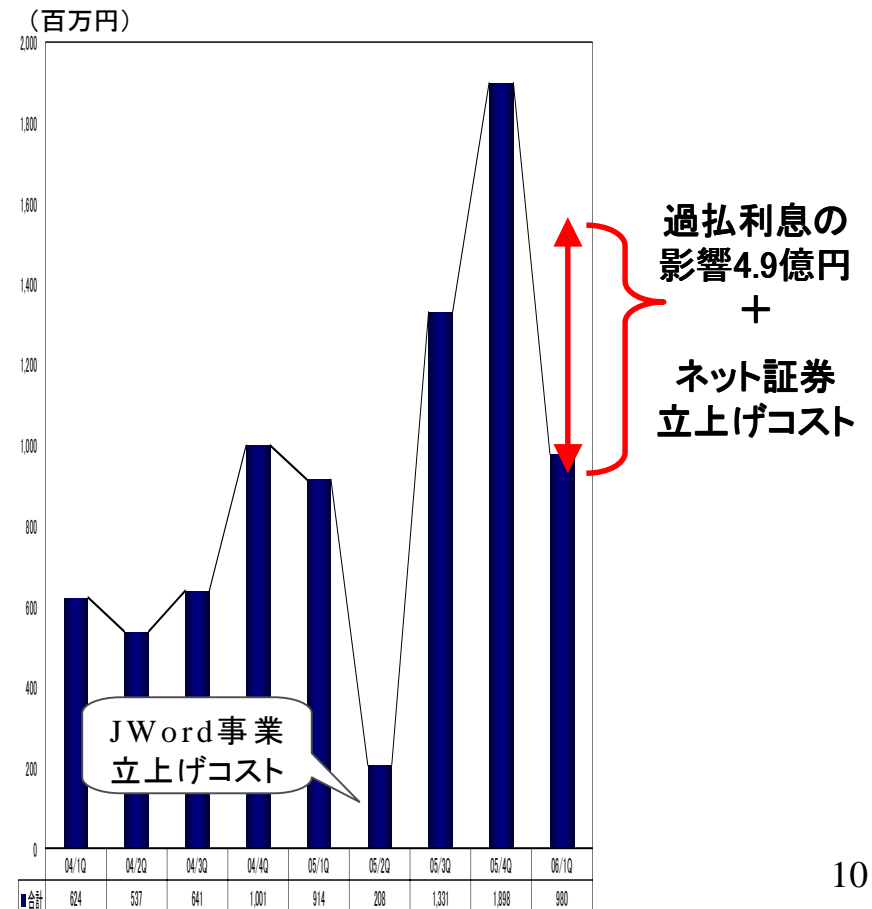
③ネット金融事業

5.業績予想

< 売上高の推移 >



< 営業利益の推移 >



# 売上高及び営業利益

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

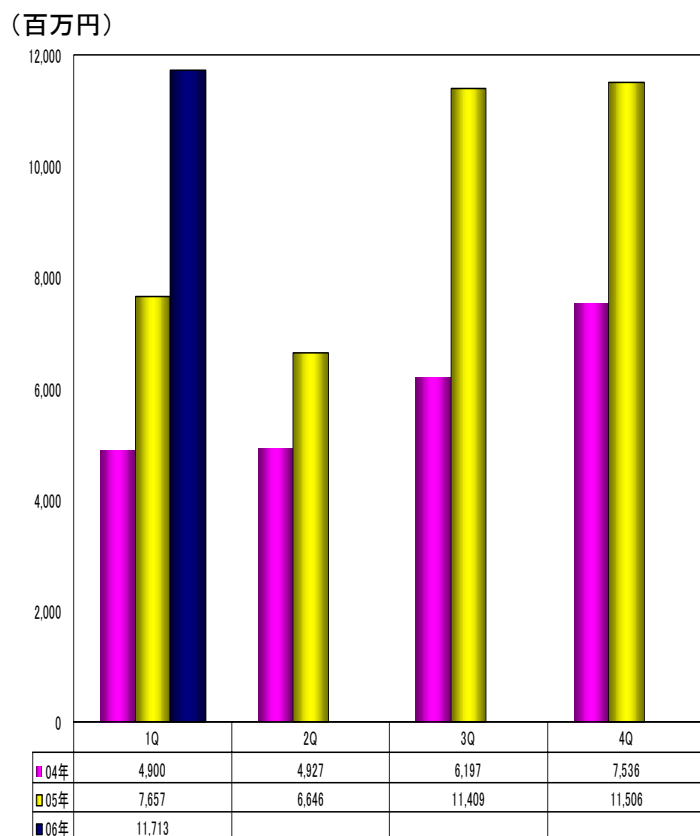
②ネットメディア事業

③ネット金融事業

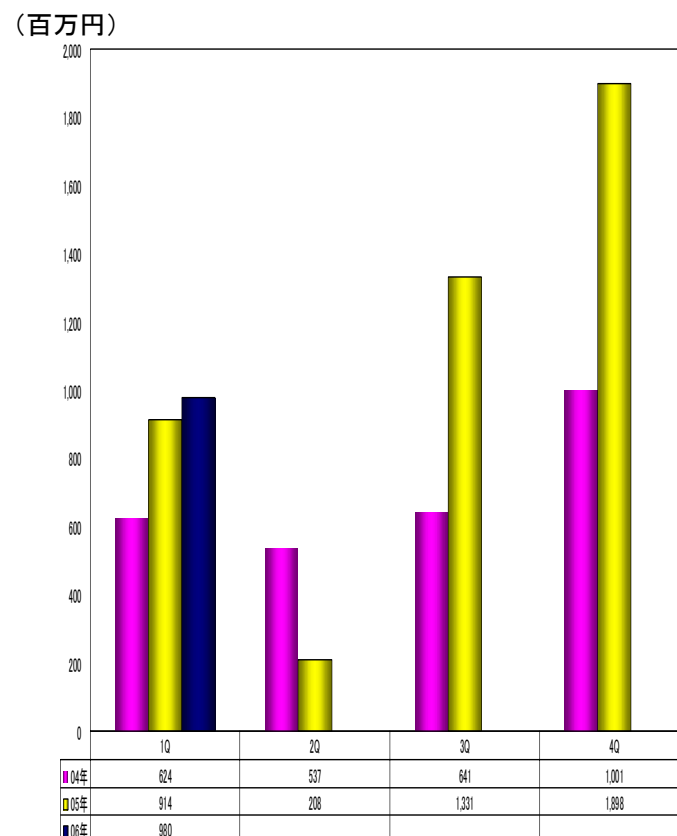
5.業績予想

## 前年同期比比較グラフ

< 売上高同一四半期の推移 >



< 営業利益同一四半期の推移 >



1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

# グ ル ー プ 戦 略

# グループが目指す方向

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

シナジーを追及し、圧倒的な成長を実現するステージへ

行動基準：夢・ビジョン・フィロソフィー

判断基準：笑顔と感動の創造

実現をする為に、日本最大のインターネット  
インフラ・メディア・ファイナンスグループを目指す

グループシナジーを追求し、  
圧倒的な成長を実現するステージへ

# グループの事業領域

## 3つの事業領域に経営資源を集中

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

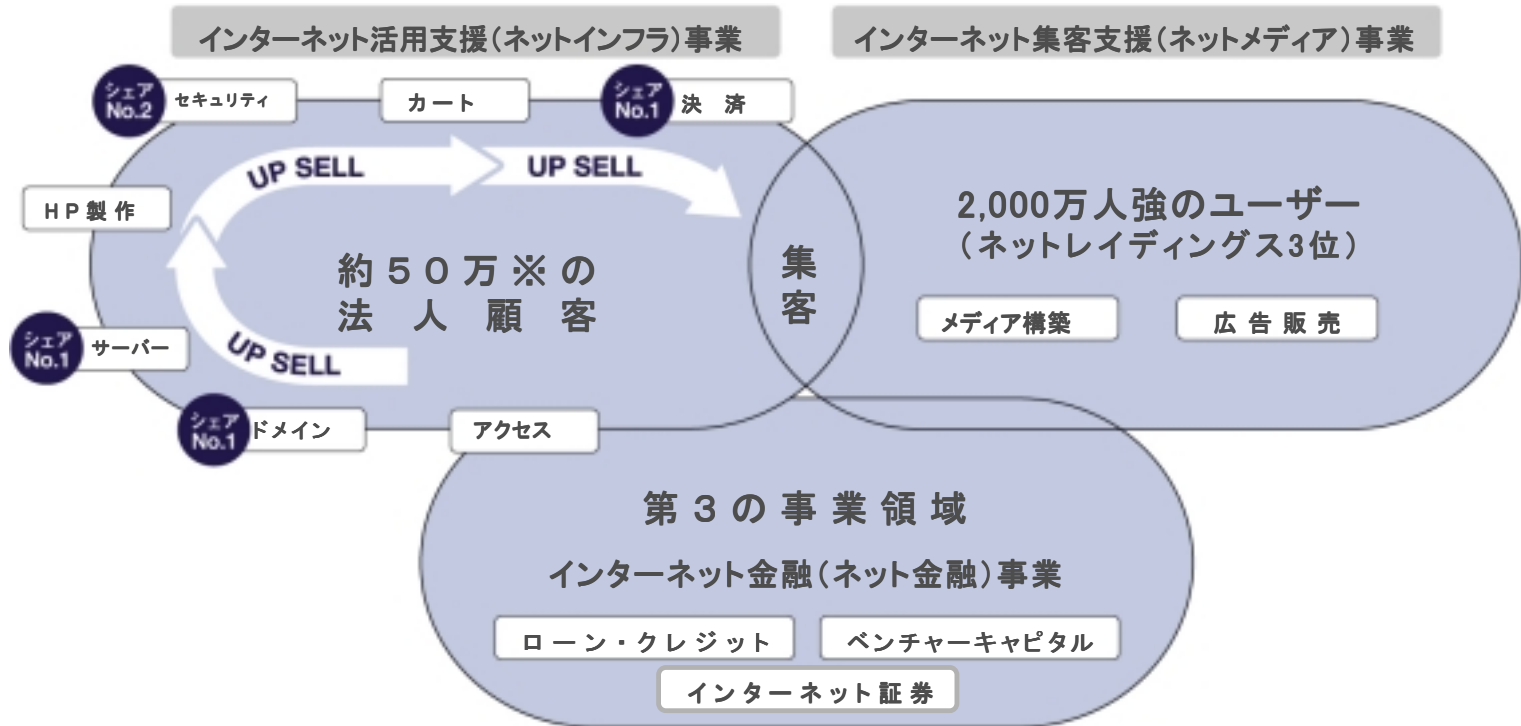
4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想



※ドメイン・サーバー・セキュリティ・カート・決済事業の会員数合計延べ数

# グループの事業領域

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

## 3つの領域のマーケティングキャッチコピー

すべての人にインターネット

ニッポンの『インターネット部』  
をめざして！

ザッツ インターテインメント！

ネット金融2.0

# グループ全体戦略

## グループシナジーの追求

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

施

策

- ① グループシナジーの追求
- ② 全サービスを共通ID化  
ユーザーはシングルサインオンが可能  
MYページを提供し、ポイントシステムで囲い込み
- ③ ワンペイメント(6月請求分より開始予定)
- ④ 『GMO』ブランドの確立

# グループ全体戦略

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

## 施策に対する進捗状況① 共通ID

共通IDプロジェクト（サービス名称「GMOパス」）  
 グループ共通IDの発行により、グループサービスの利便性を向上するプロジェクト



### <特徴>

- ・ポイントシステムによるインセンティブプログラムの導入
- ・API公開によるグループ外展開。ロングテールの取込
- ・ネット証券・クレジット・ローンなどの金融取引に展開

「GMOパス」登録ページ



ユーザーロイヤリティを高めアップセル・クロスセルを推進!

# グループ全体戦略

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

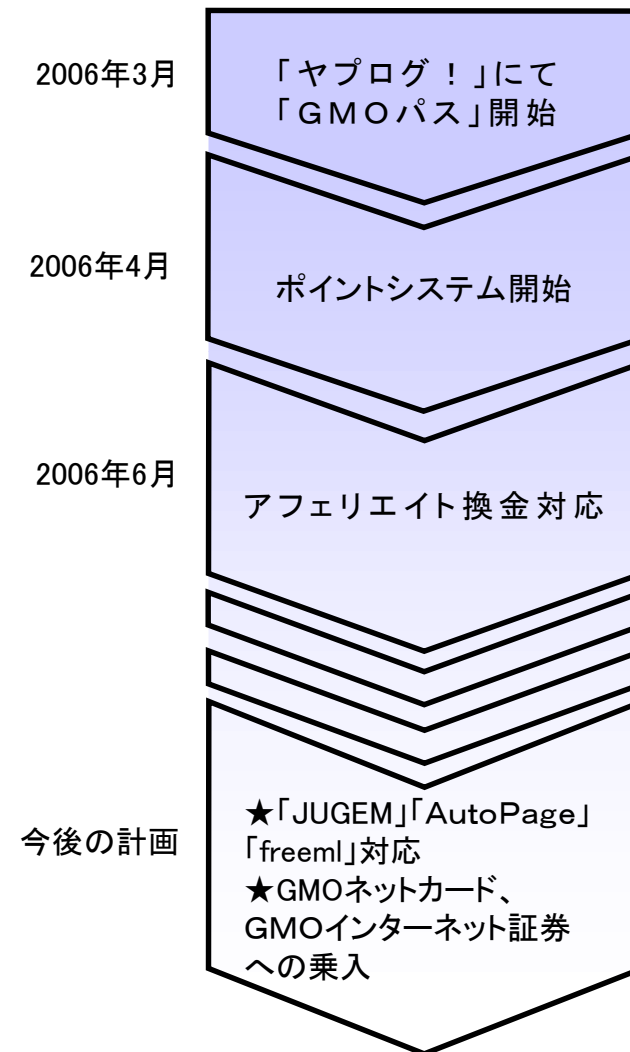
①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

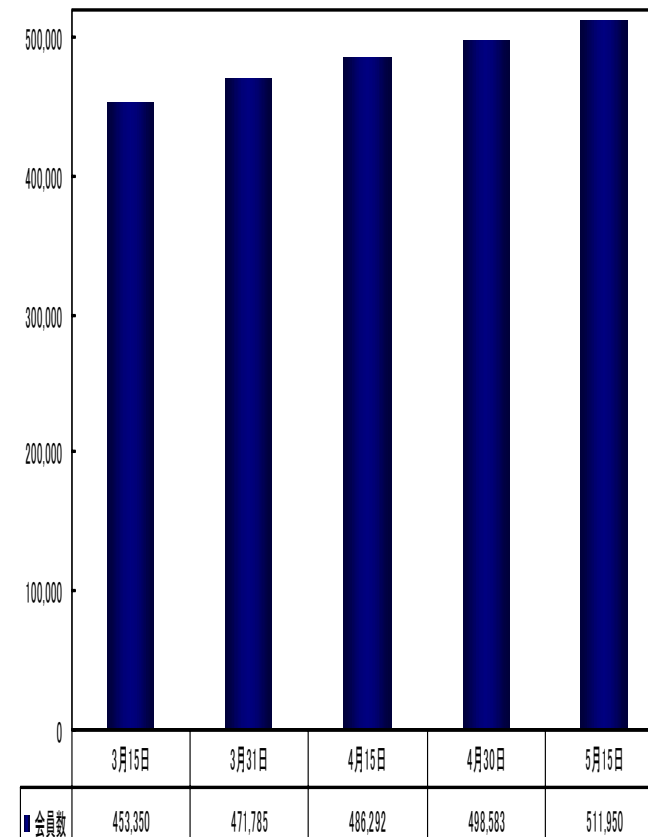
③ネット金融事業

5.業績予想

## 施策に対する進捗状況① 共通IDの展開ロードマップ



< 共通ID有効登録数 >



# グループ全体戦略

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

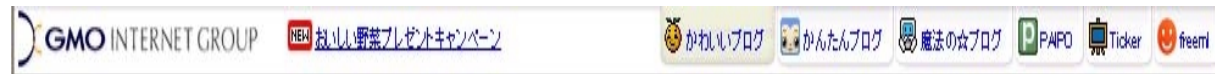
②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

## 施策に対する進捗状況②『GMO』ブランドの確立

グループ全メディアに共通ヘッダーリンクを挿入⇒ブランド統一



1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

# ネットインフラ事業

# ネットインフラ事業の主な戦略

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

P U S H 型 販 売 に よ り 成 長 加 速

施

策

- ① GMOブランドの確立
- ② プッシュ営業部隊によるグループ商材のパッケージ販売(まるごとECパック)の強化
- ③ カート事業(ECサイト向け専門レンタルサーバー)の立上げ
- ④ シナジーによる顧客満足の最大化



# 06年度アクションプランに対する進捗

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

## 施策に対する進捗状況①安心ダイヤル24

大型案件に対するサポート強化。24時間のサポート体制に



**GMO INTERNET GROUP**  
**安心ダイヤル24**  
24時間365日お客様に安心して  
インターネットサービスをご利用頂くことが私たちのミッションです。  
私たちがそばにいます。お困りの際は、いつでもご連絡ください。  
**03-0000-0000**

# 業績推移

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

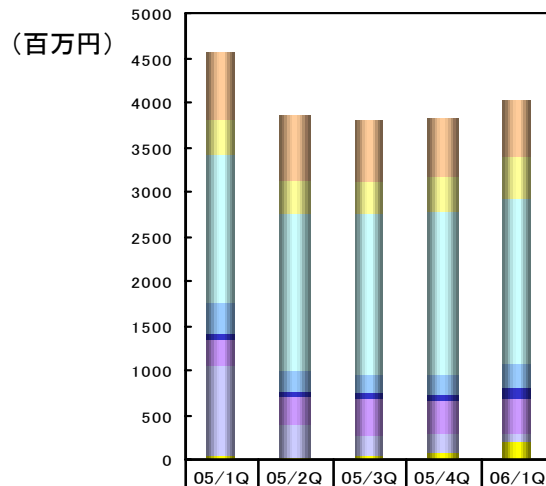
②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

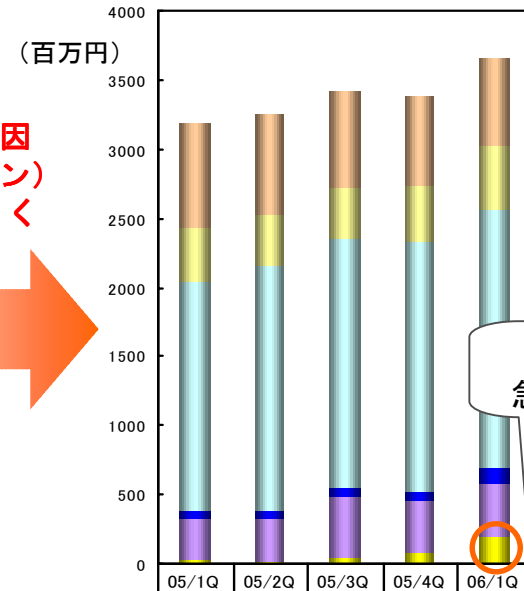
## 主カインフラ事業売上高・過去最高を記録

< ネットインフラ事業  
総合売上高推移 >



■ アクセス	751	716	696	655	633
■ ドメイン取得	399	380	367	396	457
■ レンタルサーバー	1,649	1,763	1,795	1,819	1,872
■ HP作成支援	360	221	190	231	268
■ セキュリティ	57	68	70	67	108
■ 決済	288	303	432	371	384
■ 法人向け通信関連	1,020	377	202	209	99
■ その他	39	20	55	76	202

< ネットインフラ事業  
主力事業売上高 >



■ アクセス	751	716	696	655	633
■ ドメイン取得	399	380	367	396	457
■ レンタルサーバー	1,649	1,763	1,795	1,819	1,872
■ セキュリティ	57	68	70	67	108
■ 決済	288	303	432	371	384
■ その他	39	20	55	76	202

特殊要因  
(おとくライン)  
を除く

カート事業の  
急速な立上がり



# 業績推移

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

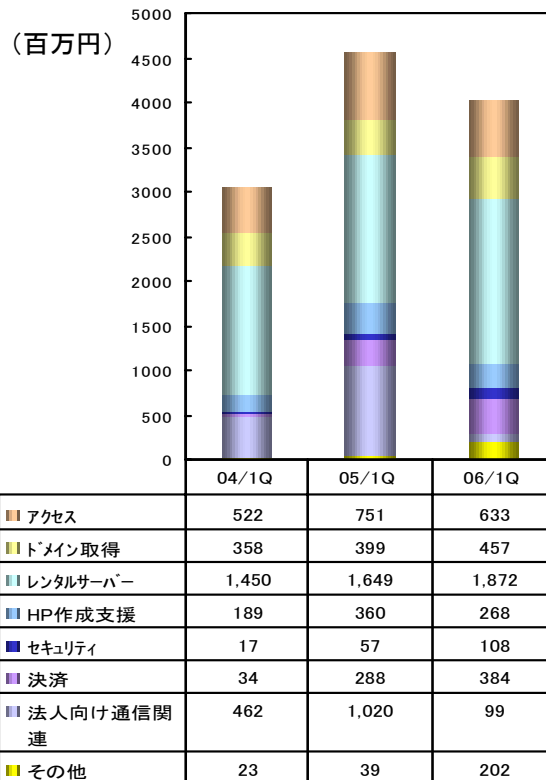
②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

## 同一四半期の推移

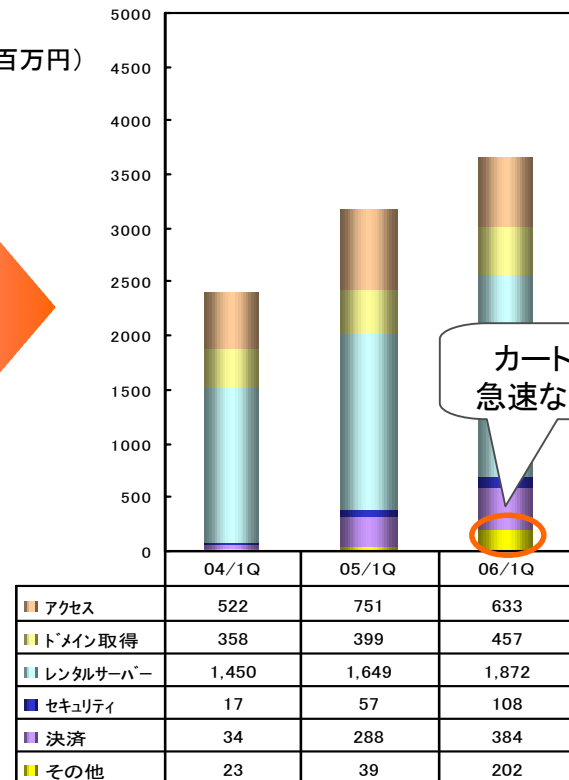
＜ ネットインフラ事業 総合売上高同一四半期推移 ＞



特殊要因  
(おとくライン)  
を 除 く



＜ ネットインフラ事業 主力事業同一四半期売上高 ＞



カート事業の  
急速な立上がり

# ドメイン・サーバー事業主要係数推移

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

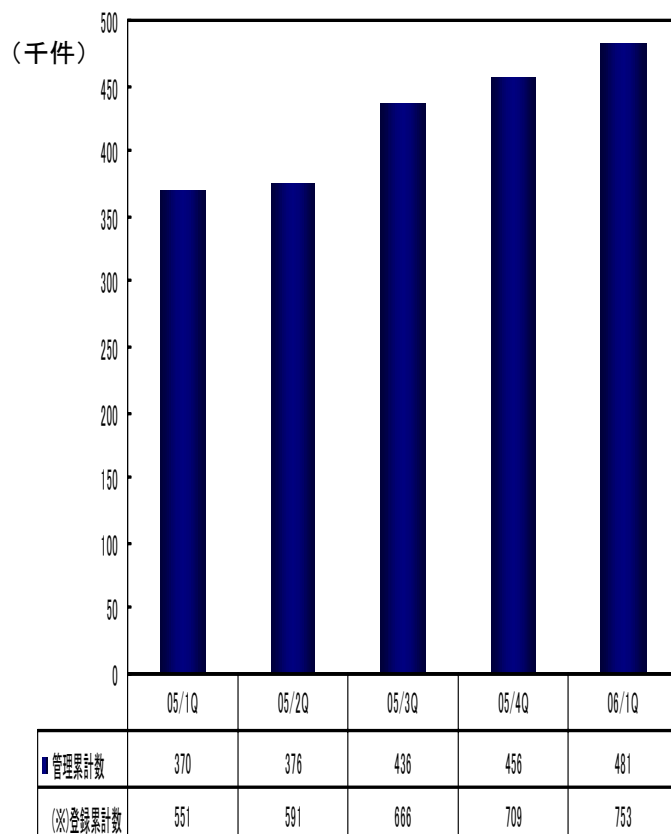
②ネットメディア事業

③ネット金融事業

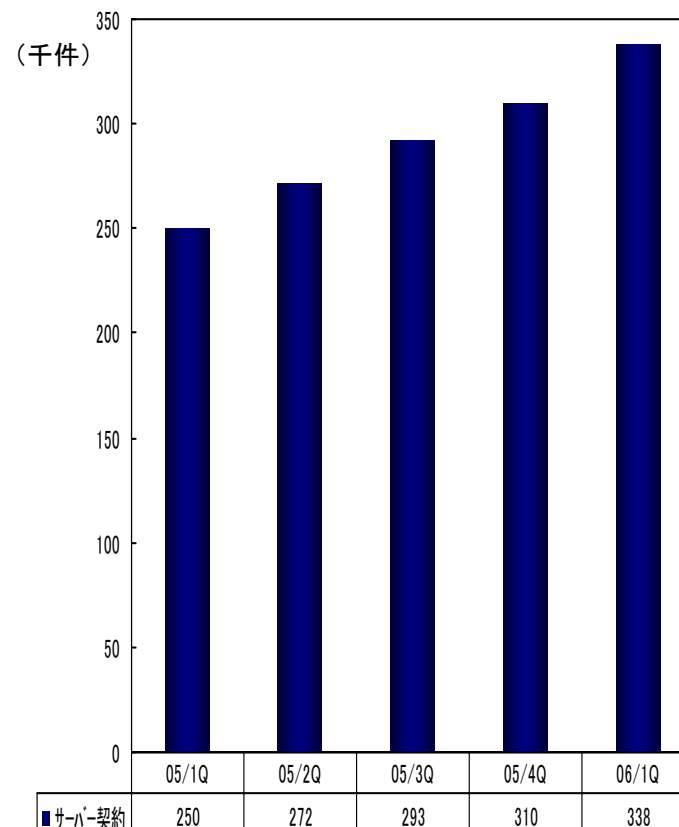
5.業績予想

ドメイン・サーバーともシェアを更に拡大・好調を持続

<ドメイン名登録数推移>



<サーバー契約件数>



# セキュリティ事業主要係数推移

## シェアを更に拡大

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

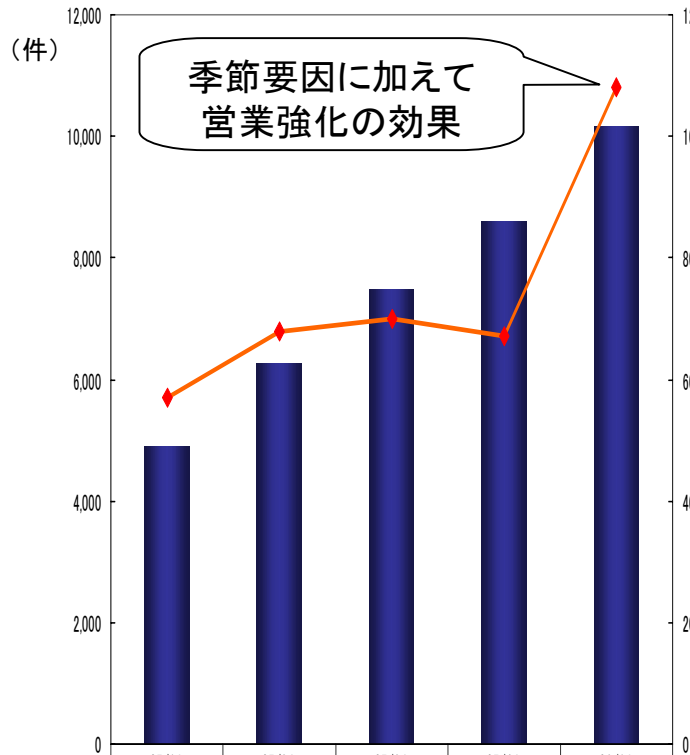
①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

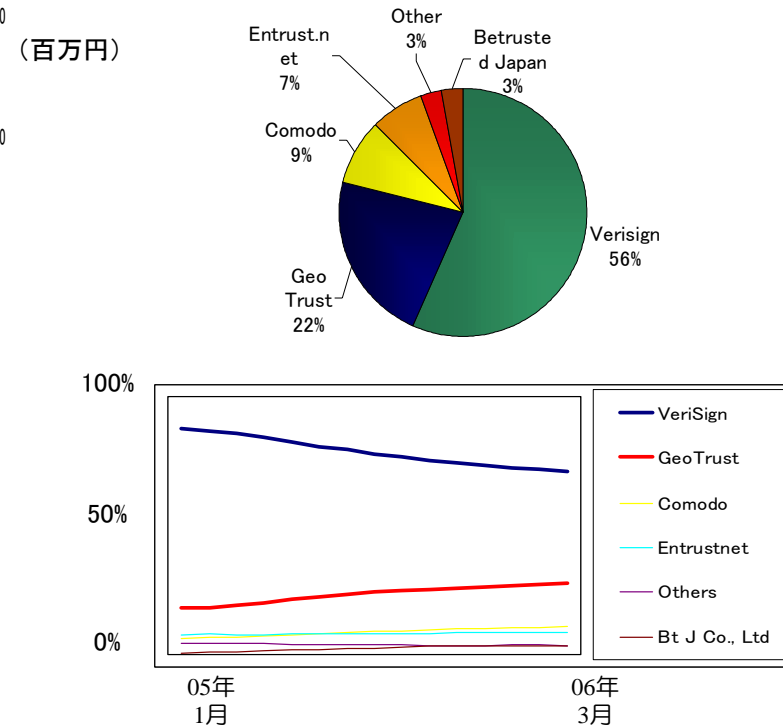
③ネット金融事業

5.業績予想

＜セキュリティ事業売上高及び有効発行枚数＞



＜日本における電子認証市場シェア及び推移＞※



日本の電子認証市場の56%をベリサイングループが占めており、ジオトラスト社は22%のシェアを保有。 27

※2006年3月31日 Netcraft社調べ



# カート事業主要係数推移

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

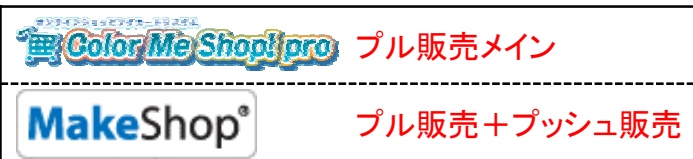
②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

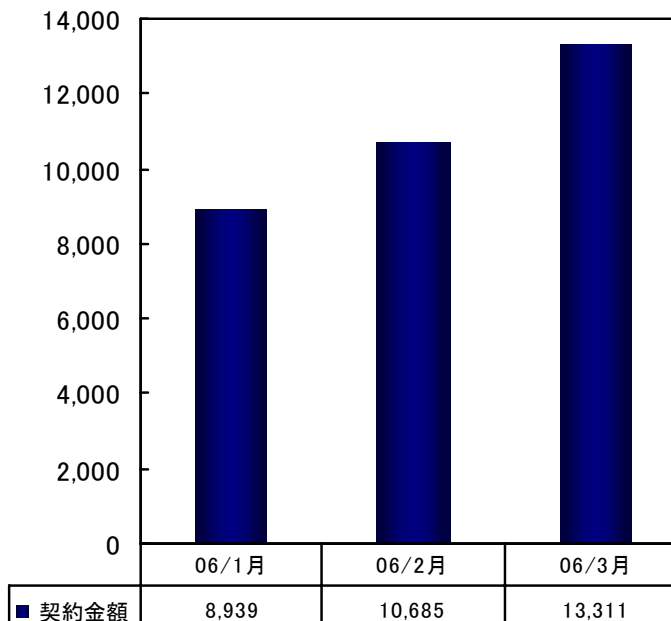
## プル販売好調・プッシュ販売はシナジーで急速な立ち上がり

< 2ブランドにて展開 >

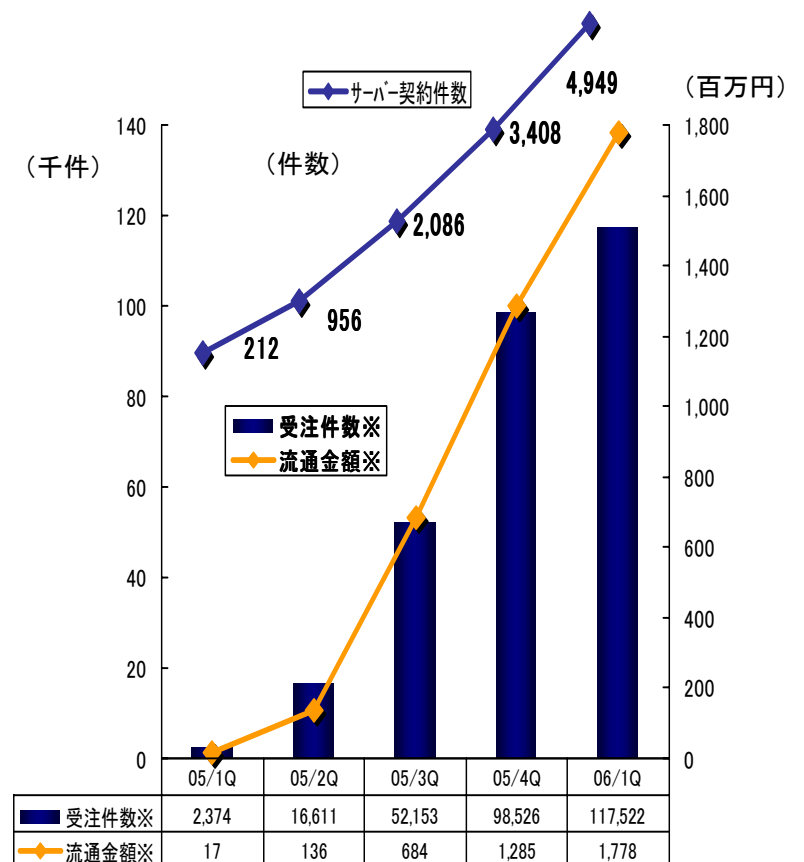


<メイクショップ契約金額推移>

(千円)



<受注件数・流通金額及びサーバー契約件数>



※カートをご利用いただいているお客様の売上件数と売上高

# カード決済事業主要係数推移

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

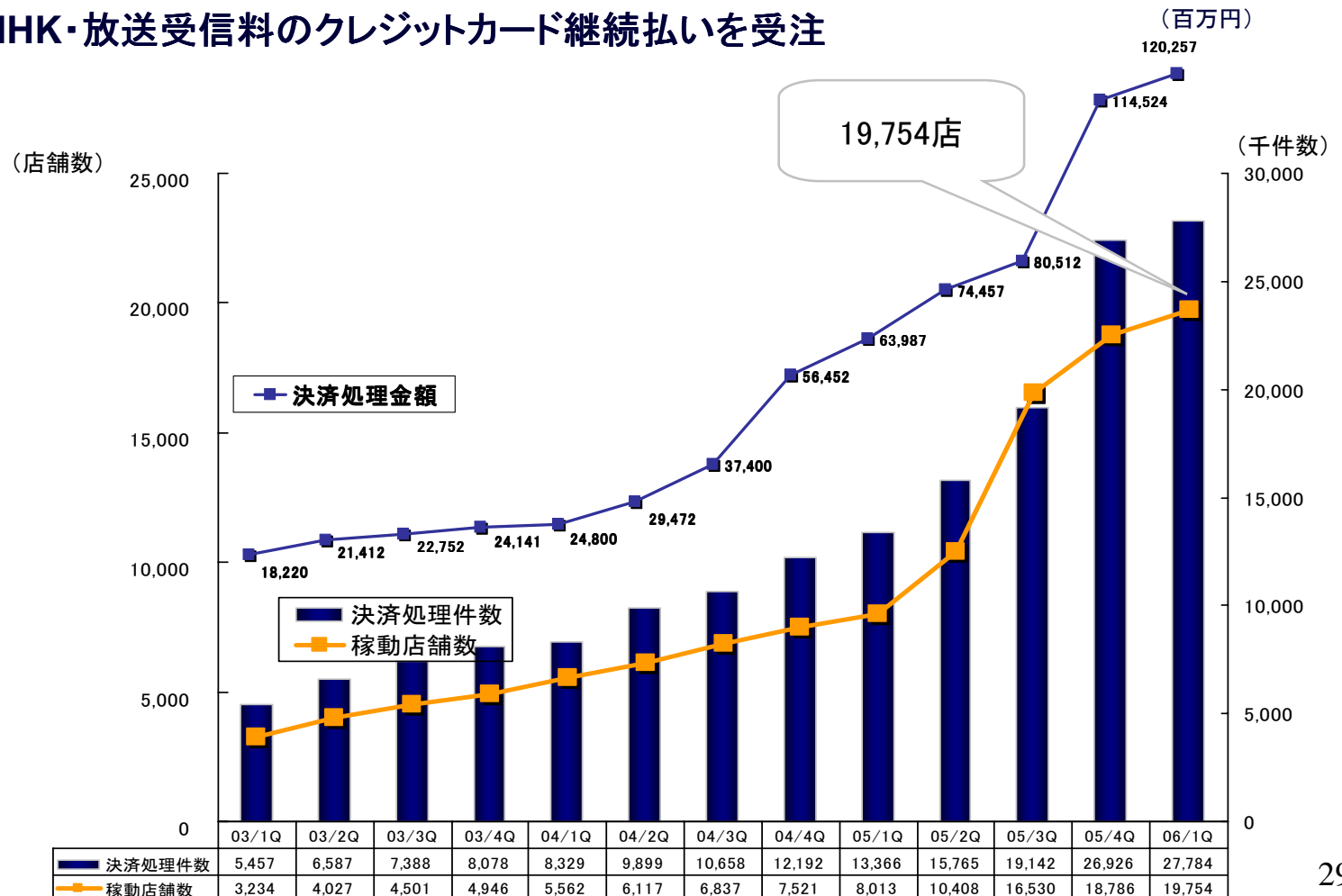
②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

クレジットカード未開拓市場「公共料金」を順調に受注

NHK・放送受信料のクレジットカード継続払いを受注



1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

# ネットメディア事業

# 06年度アクションプラン

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

## メディア事業統合・シナジーを最大化させる

施

策

- ① 広告商材の統合、  
アドサーバー(広告配信サーバー)統合  
による販売の合理化
- ② コスト削減(オープンソース化)
- ③ WEB2.0メディアの成長

# 06年度アクションプランに対する進捗

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

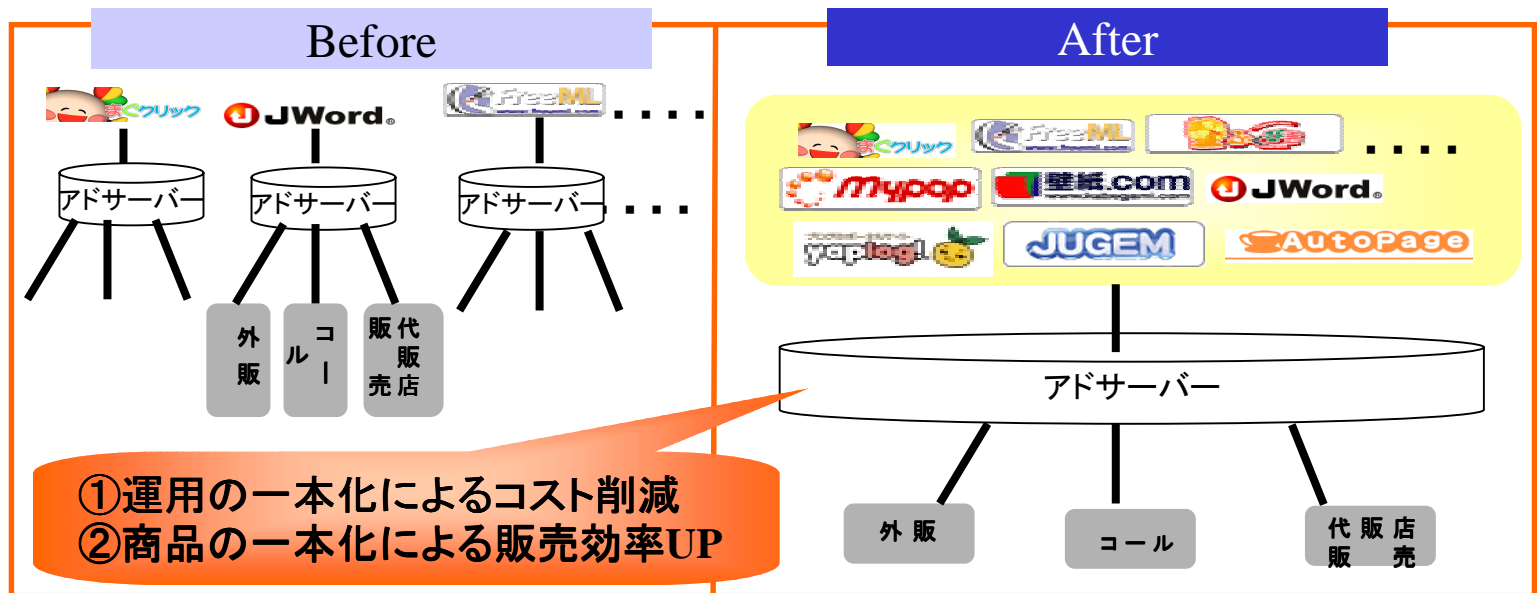
②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

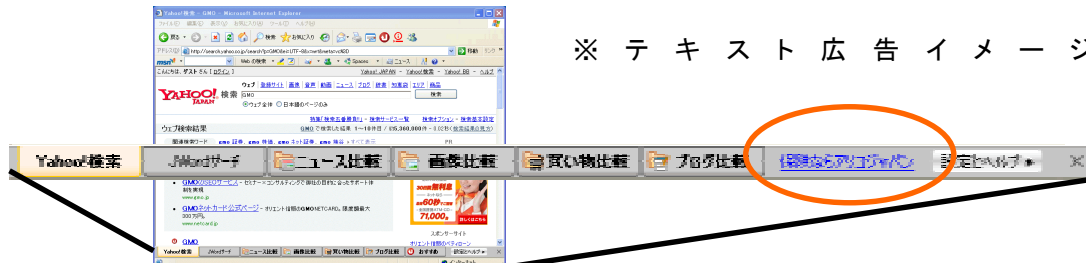
## 施策に対する進捗状況①アドサーバーの統合

①5月31日 アドサーバーを3ブログで共用(ヤプログ!、JUGEM、AutoPage)



② 3 Q J W o r d と 商 品 統 合 ( テ キ ス ト 広 告 )

※ テキスト広告イメージ



# 06年度アクションプランに対する進捗

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

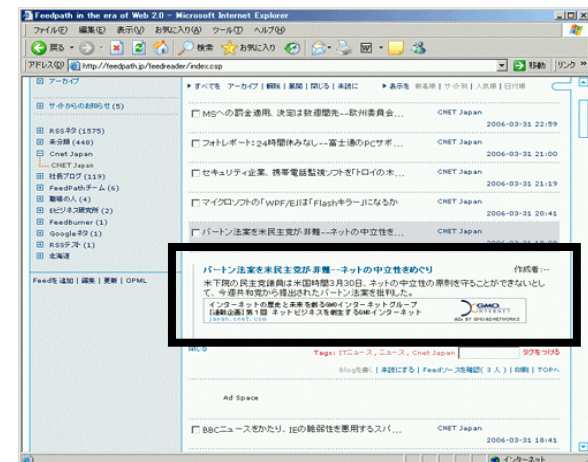
## 施策に対する進捗状況 ② FeedBurner

RSS/Atomフィードのトラフィック測定加工管理を行なうASPサービス



FeedBurner Japan

2006年1月26日 サービススタート！



購読者数やRSS広告配信のレポート測定

URL <http://www.feedburner.jp/>

RSSへ広告配信



# グループのリーチ推移

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

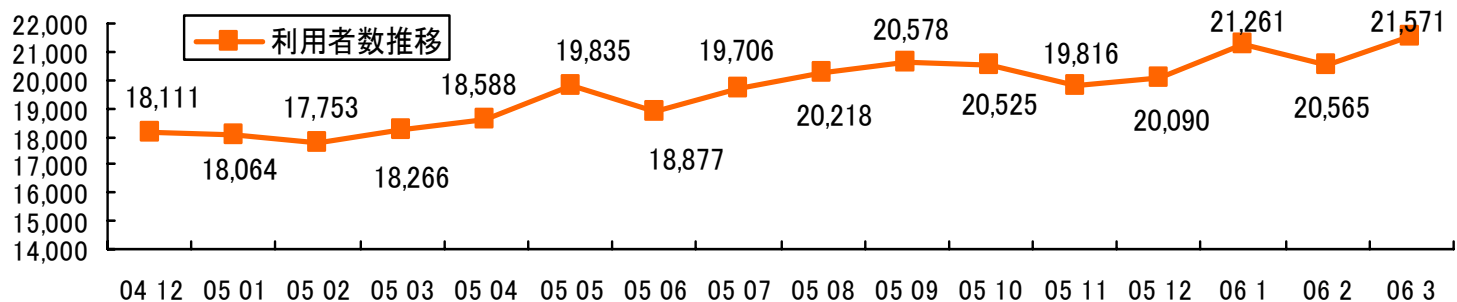
①ネットインフラ事業

**②ネットメディア事業**

③ネット金融事業

5.業績予想

## グループリーチは業界3位で順調に推移



2005年3月末

利用者数順位	利用者 (千人)	リーチ (%)	PV順位
1.Yahoo!	31,217	83.84	1
2.Rakuten	22,616	60.74	2
3.MSN	19,145	50.35	3
<b>4.GMO</b>	<b>18,266</b>	<b>49.06</b>	<b>4</b>
5. Nifty	17,694	47.52	6
6. NEC	15,887	42.67	8
7. Microsoft	14,603	39.22	38
8. NTT.Com	14,031	37.68	16
9. Sony	12,923	34.71	17
10.NTT-Resonant	12,722	34.17	7

2006年3月末

利用者数順位	利用者 (千人)	リーチ (%)	PV順位
1.Yahoo!	35,218	86.37	1
2.Rakuten	24,525	60.15	2
<b>3.GMO</b>	<b>21,571</b>	<b>52.90</b>	<b>4</b>
4. Nifty	19,845	48.67	8
5. MSN	19,341	47.43	5
6.NEC	17,528	42.99	12
7. Amazon	16,406	40.24	16
8. FC2	15,735	38.59	7
9. NTT.Com	15,678	38.45	20
10. Livedoor	15,459	37.91	14



# 業 績 推 移

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

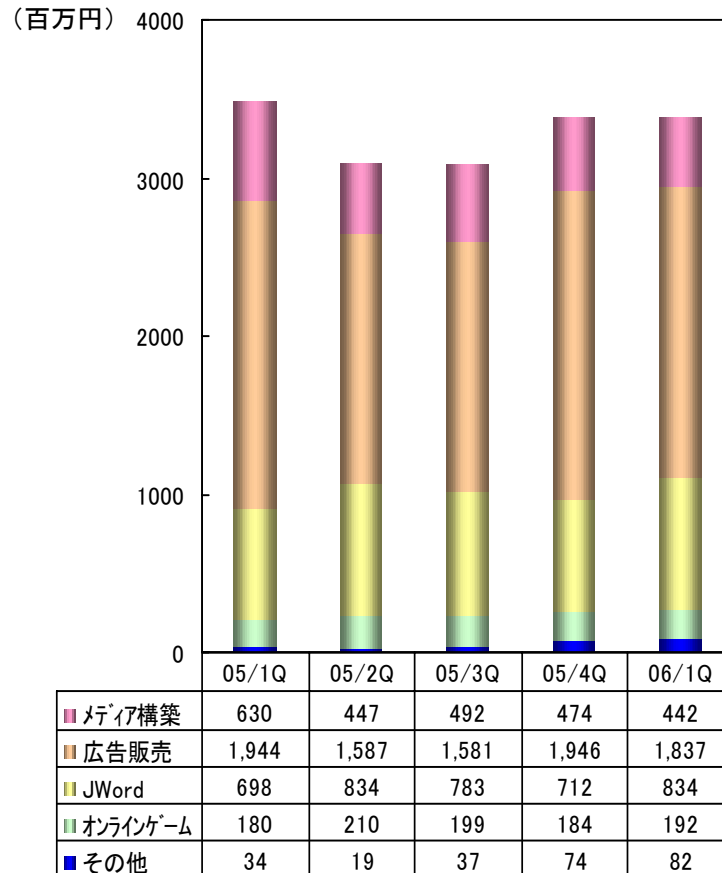
**②ネットメディア事業**

③ネット金融事業

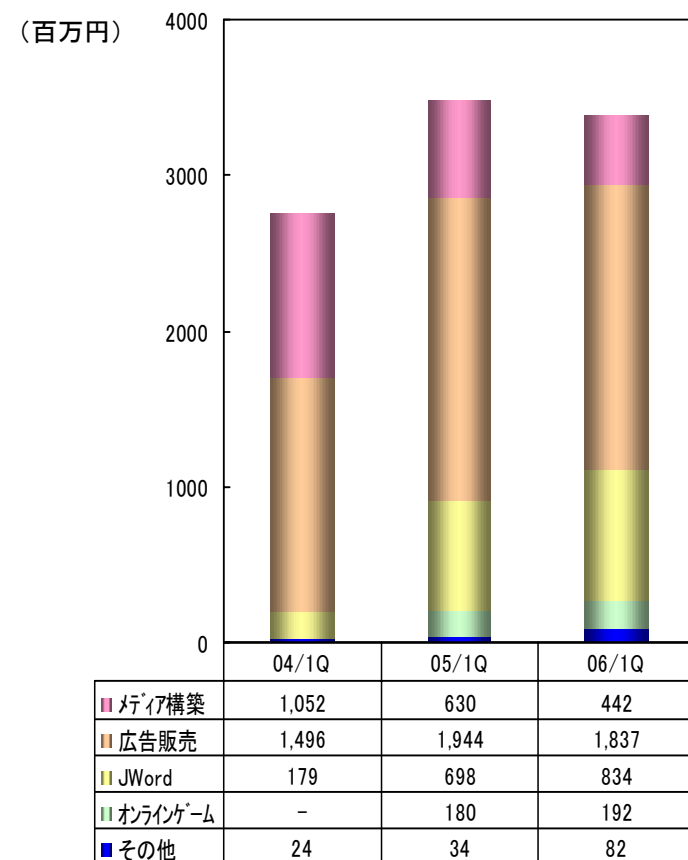
5.業績予想

利益率の高いJWord事業 売上構成比4.5%アップ(対前年同期比)

< ネットメディア事業 売上高推移 >



< ネットメディア事業 同一四半期売上高推移 >



# J W o r d 生 産 性 の 状 況

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

① ネットインフラ事業

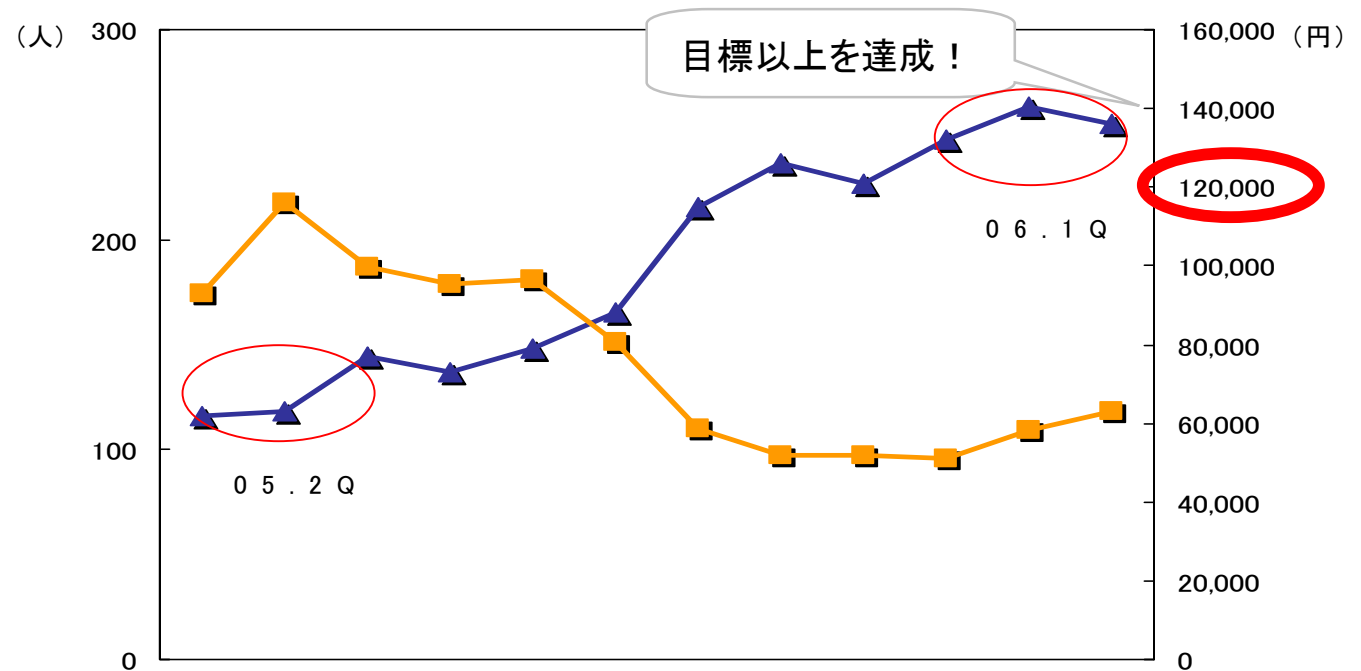
② ネットメディア事業

③ ネット金融事業

5.業績予想

## 2005. 2Qと比較すると倍近い生産性の改善

<GMOインターネットグループにおけるJWord販売人員推移・一人当り販売高推移>



	2005年 4月	2005年 5月	2005年 6月	2005年 7月	2005年 8月	2005年 9月	2005年 10月	2005年 11月	2005年 12月	2006年 1月	2006年 2月	2006年 3月
▲ 一人当たり売上高/1日	62,000	63,000	77,000	73,000	79,000	88,000	114,741	126,000	121,000	131,891	140,547	136,136
■ 人員推移	174	218	187	179	181	151	110	97	97	96	109.4	118.4

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

# ネット金融事業

# ネット金融事業の主な戦略

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

## 提携効果と技術力で加速する「ネット金融2.0」

施

策

- ① ローン・クレジット事業のIT化加速
- ② イーバンクとの提携
- ③ ネット金融2.0(オープンソース化、API公開)
- ④ 環境変化に耐えうる収益基盤作り

# 業 績 推 移

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

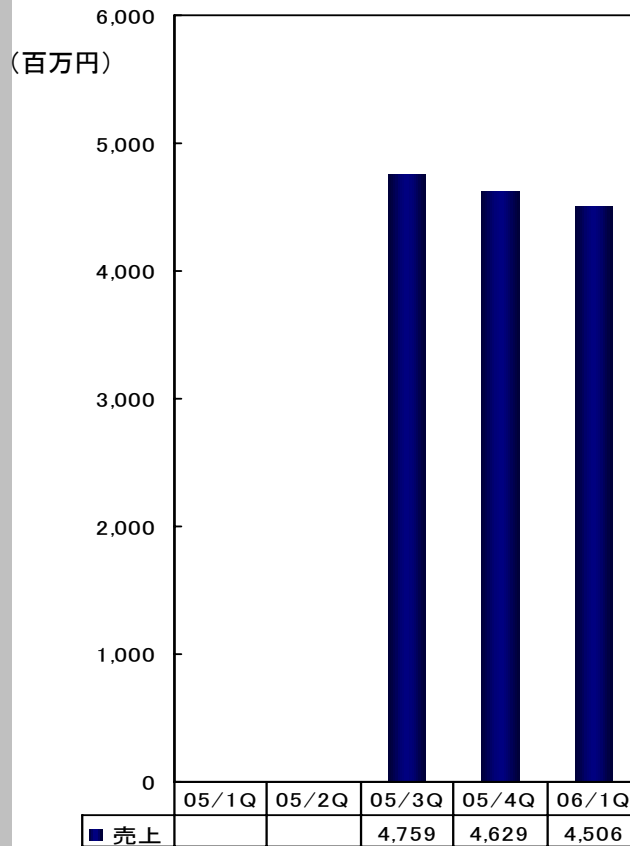
②ネットメディア事業

③ネット金融事業

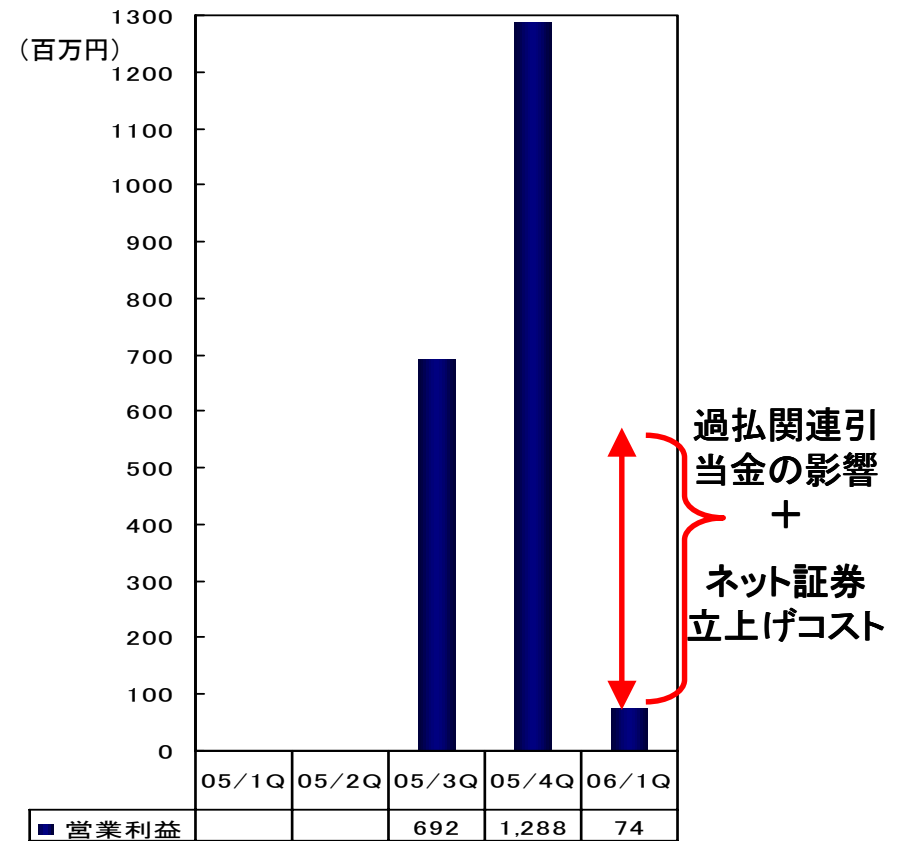
5.業績予想

## 過払関連引当金の一括計上による影響を受ける

< ネット金融事業売上高推移 >



< ネット金融事業営業利益推移 >



※06年1QよりGMOネット証券も含まれております

# ローン・クレジット事業グループシナジー効果

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

③ネット金融事業

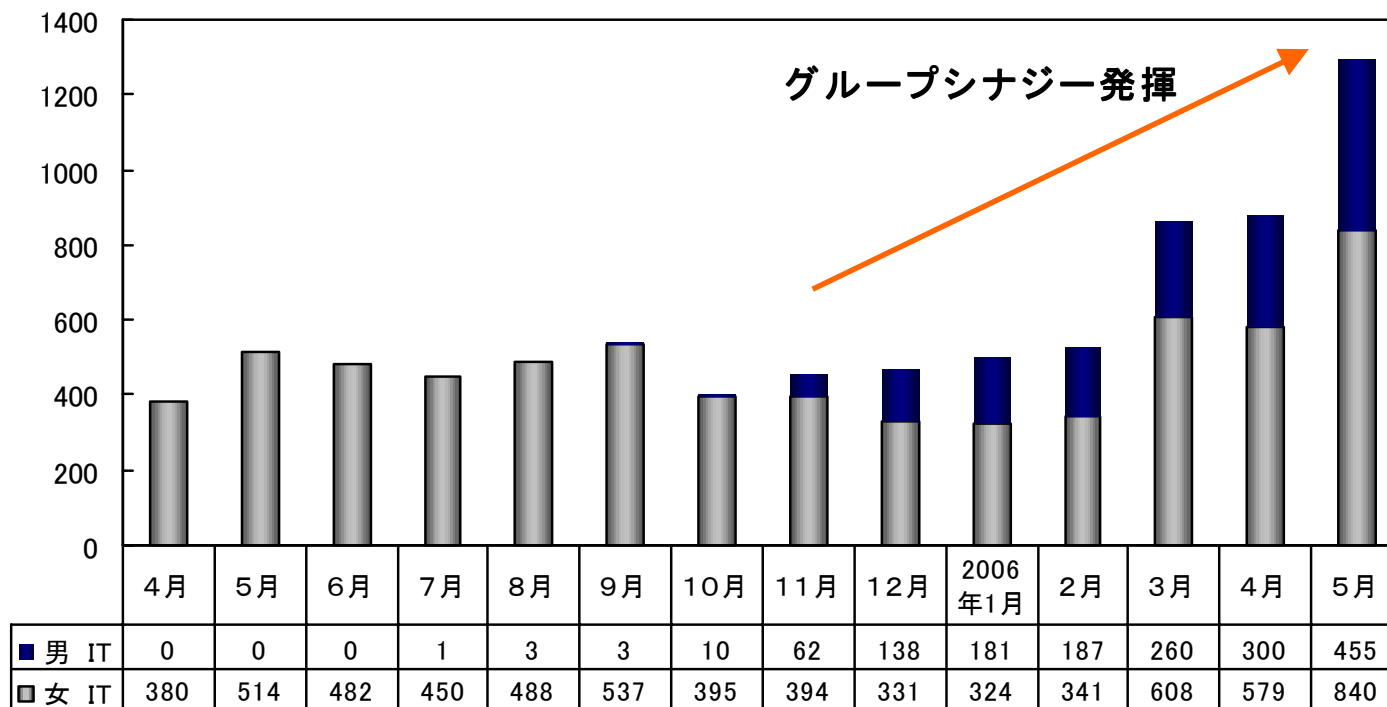
5.業績予想

## 申込別口座数推移から見たグループシナジー

シナジー①ITチャネルからの申込が増加

シナジー②ITチャネルの入口ができたことにより男性顧客が増加

＜ITチャネル男女別新規獲得件数＞



※ 5月は見通し件数でございます



# ローン・クレジット事業－過払い返還金について①

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

## 過払返還請求は今年がピーク

### －マクロ要因

- 法改正によるグレーゾーン金利撤廃
- 多重債務救済基金が始動

### －個社要因

- グループ顧客への低金利商品の推進
- 取引履歴の与信への反映
- 過去の過払返還請求の分析結果を与信に反映
- カウンセリング能力の強化
- それぞれの返還請求に対しての木目細かい対応

# ローン・クレジット事業－過払関連費用について②

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

## 2006年3月度 大手各社過払関連費用動向

当社の利息返還引当金の水準は大手並であり、健全な対応をとっている

単位：百万円

社名	利息返還金見込 (A)	利息返還引当金 (B)	B / A	利息返還引当金比率
武富士	18,699	22,500	120%	1.46%
アコム	13,527	23,700	175%	1.40%
プロミス	12,455	21,200	170%	1.34%
アイフル	10,603	17,019	161%	1.13%
三洋信販	2,199	4,000	182%	0.94%
シンキ	N/A	2,570	N/A	1.29%
クレディア	1,168	1,500	128%	1.35%
オリエント 信販	605	900	150%	1.13%

※1 利息返還引当金比率は3月末単体残高ベース

※2 オリエント信販は上記の9億円に加えて4月、5月の2か月分を未払費用として2億5500万円を計上している

※3 各社決算短信・開示資料より

# ローン・クレジット事業一法改正に対する対応策①

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

## 上限金利18%シナリオでも経常利益成長率は15%

### 口座数を30%増加

口座数をグループ顧客基盤へのサービス  
拡充で2008年3月までに最低3割増加

- ・7.3%～18%の低金利商品の推進
- ・SOHO等のスモール・ビジネス・ローンに  
コア・ターゲット化
- ・共通IDプロジェクトをグループ力を上げて推進
- ・貸付単価はフラットで、貸付残高を3割アップ

### 全体のコストを15%削減

全体のコストを15%削減

- ・社員の多能工化と派遣社員の自然減により  
人員数を30%削減
- ・与信の絞込みによりクレジットコストが  
年間0.6%ずつ改善
- ・利息返還金コストは2007年4月以降は半減
- ・償却負担の軽減

※従来の消費者金融ポートフォリオでは成約率が40%下がり、2年間で25%残高が低下

# ローン・クレジット事業一法改正に対する対応②

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

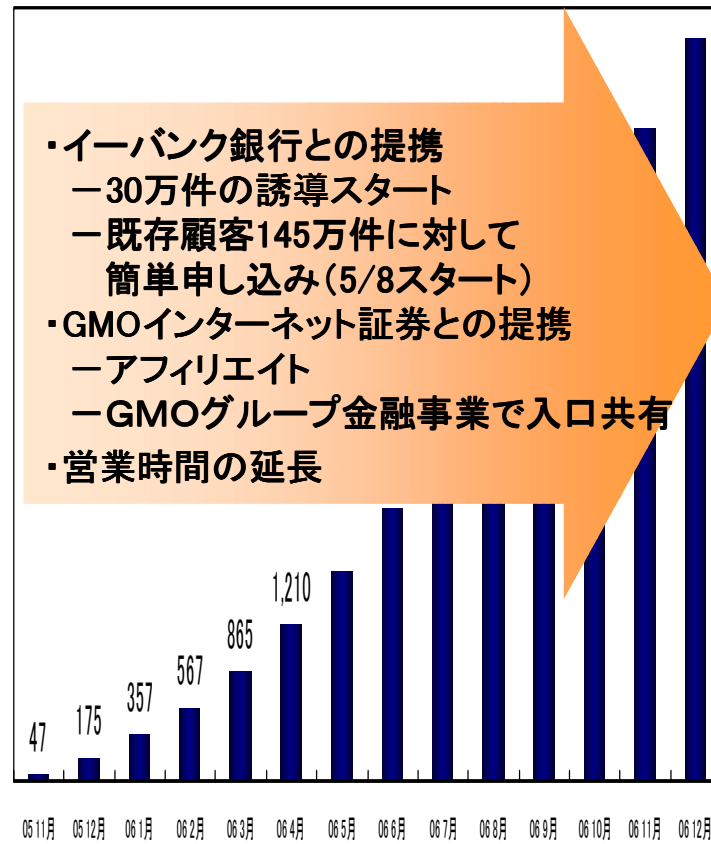
③ネット金融事業

5.業績予想

## 口座数 30% 増加の施策

<GMOネットカード累積口座数推移と成長施策>

(口座数)



- ・イーバンク銀行との提携
  - －30万件の誘導スタート
  - －既存顧客145万件に対して  
簡単申し込み(5/8スタート)
- ・GMOインターネット証券との提携
  - －アフィリエイト
  - －GMOグループ金融事業で入口共有
- ・営業時間の延長

<その他の成長施策>

6 月

- スモール・ビジネス・ローンの開始
- おまとめローンの開始
- 「GMOネットカード株式会社」に社名変更

1 2 月

- 株式担保ローンの開始
- グループ 共通IDプロジェクト
  - －シングル・サイン・オン
  - －ポイント・プログラム
  - －ワン ペイメント
- クレジット・カード・サービスの開始

← 実績値 →      ← シナジー効果による増加イメージ →



# ローン・クレジット事業一法改正に対する対応③

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

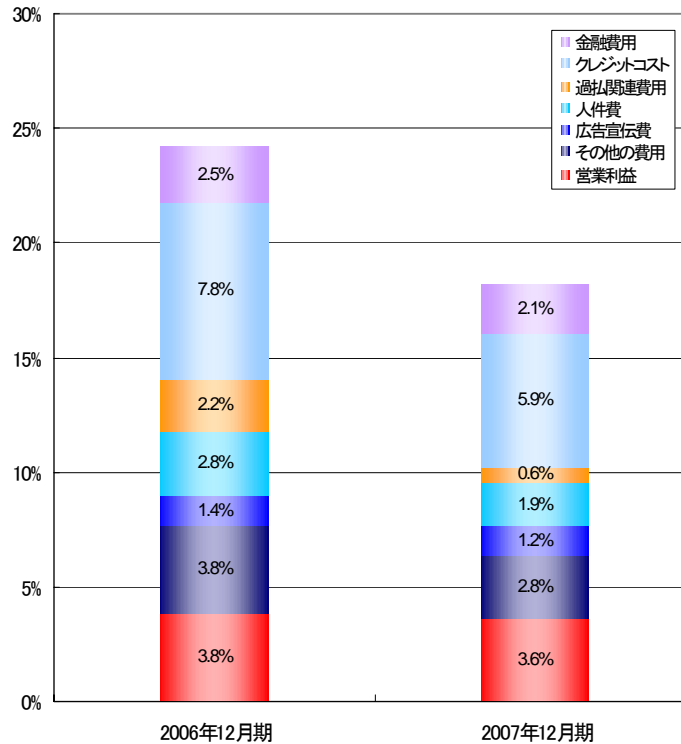
②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

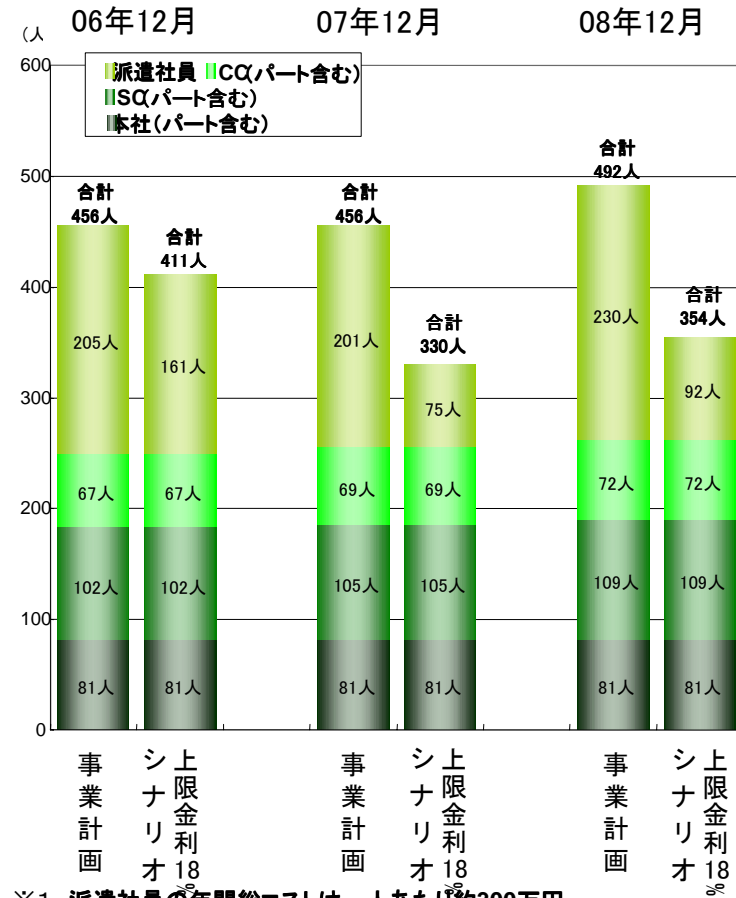
## コスト15%削減の施策

<上限金利18%の収益スプレッド見込み>



※ クレジットコストスプレッドは、ホールセールを除く残高をベースに算出すると、年間0.6%ずつ減少する

<上限金利18%必要人員数シュミレーション>



※1 派遣社員の年間総コストは一人あたり約300万円  
 ※2 派遣社員月間離職率2%

# ローン・クレジット事業一法改正に対する対応④

## 上限金利18%対応策における経常利益

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

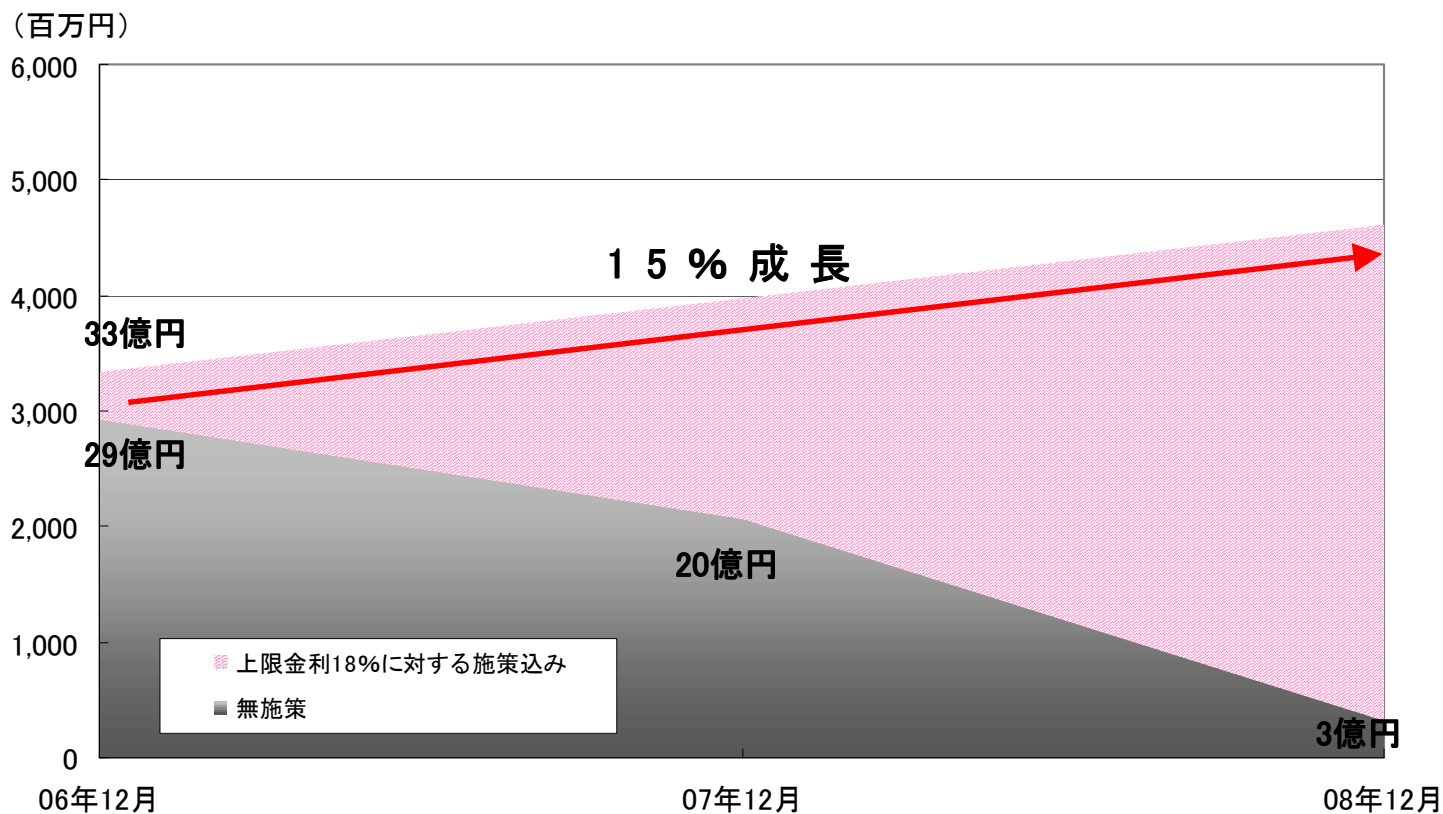
4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想



※ オリエント信販単体の経常利益シミュレーション

# ネット金融2.0-GMOインターネット証券開業

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

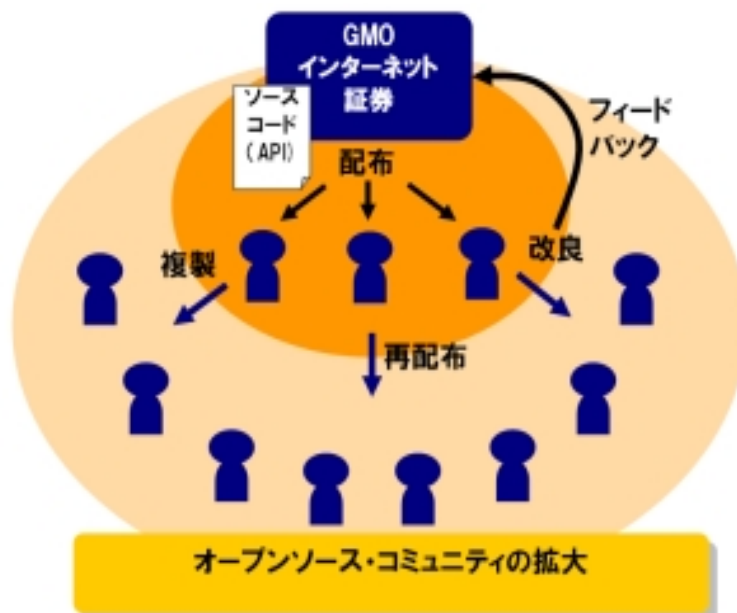
①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

## 5月12日より現物株式・制度信用取引開始



ウェブサービスAPI(接続仕様)の公開

- ・ユーザーが自由にツールを作成
- ・他社の分析ツールなどとの連携も可能

ツールのオープンソース化

- ・サンプルツールの提供
- ・コミュニティでの開発を支援

安 い

オープンソースを主体とした  
自社開発システム ビジネスフローの  
簡素化少人数による運営

便 利

ウェブサービスAPI公開により、  
お客様による自分だけの  
オリジナル取引ツールの作成が可能

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

# 業 績 予 想

## 業績予想の修正について

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

## 過払関連費用計上と既存事業の好調を受け修正

	2006年度 今回予想	2006年度 従来予想	増減額	備考
売上高	51,000	51,000	—	
営業利益	6,500	7,500	-1,000	過払関連費用計上 △1,550百万円 メディア・インフラ事業好調 +550百万円
経常利益	6,350	6,500	-150	過払関連費用計上など △700百万円 メディア・インフラ事業好調 +550百万円
純利益	2,200	2,200	—	過払関連費用の特別損失計上634百万円あるが投資有価証券売却益等でカバー

# 業績の推移

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

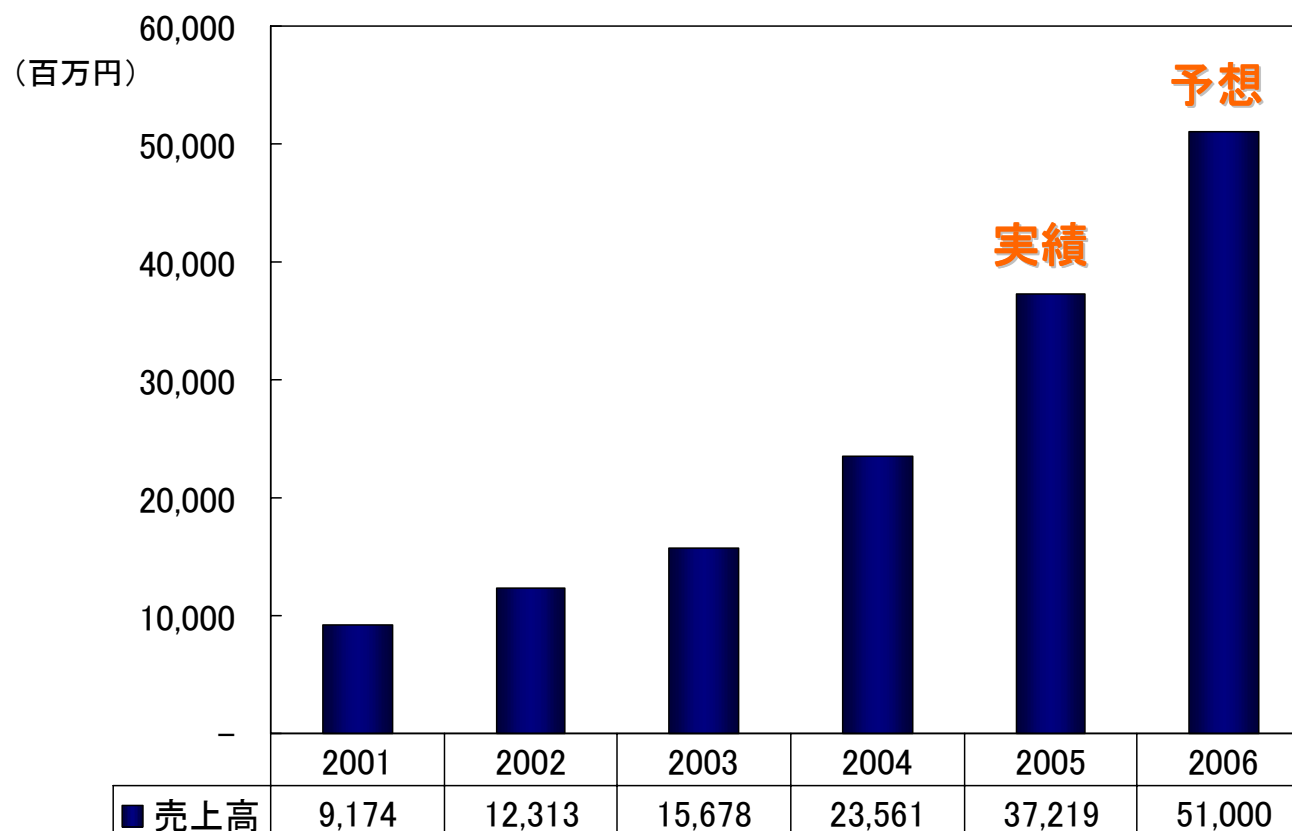
①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

## 売上高



# 業績の推移

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

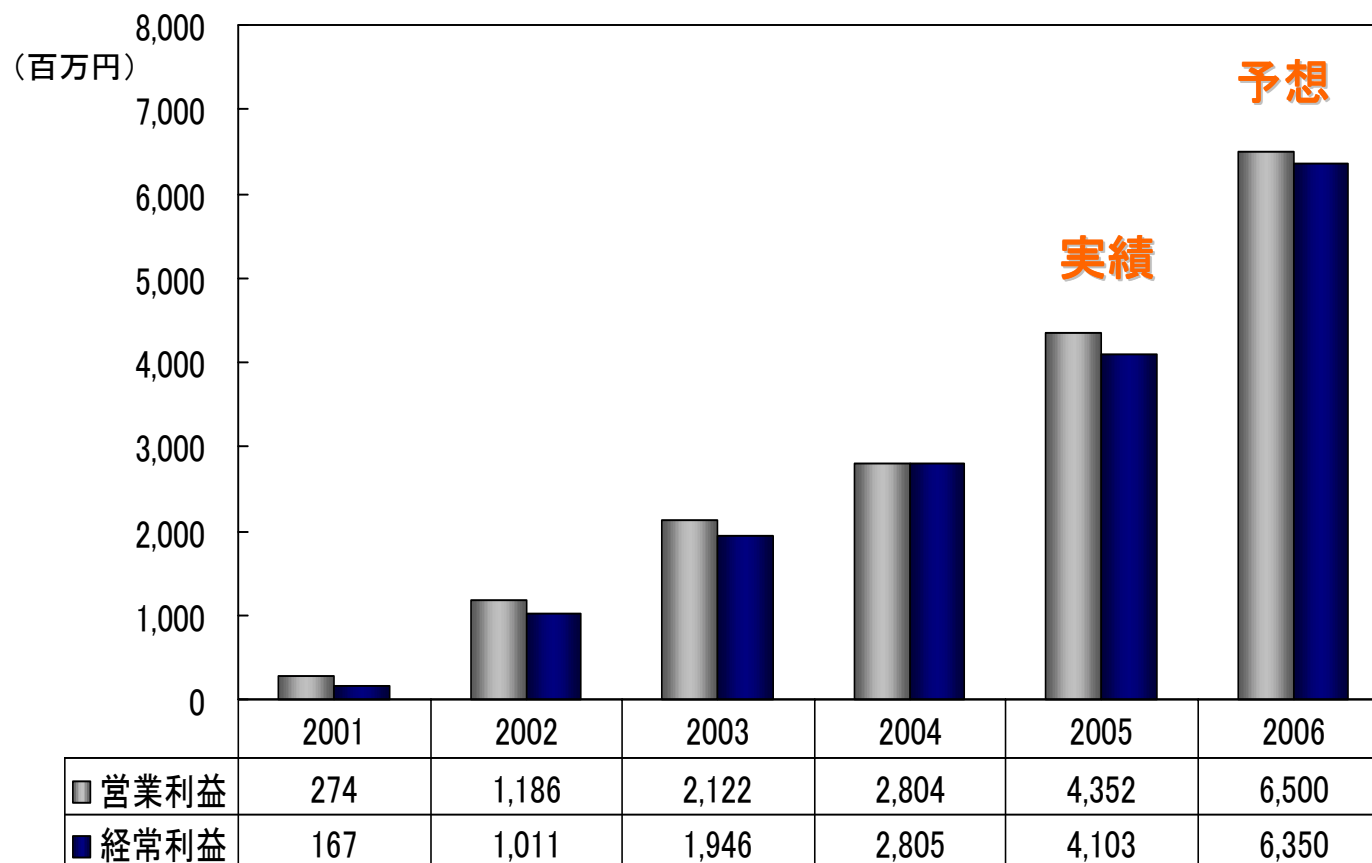
①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

## 営業利益及び経常利益



# 業績の推移

1.ハイライト

2.決算概要

3.グループ戦略

4.セグメント別の状況と取組

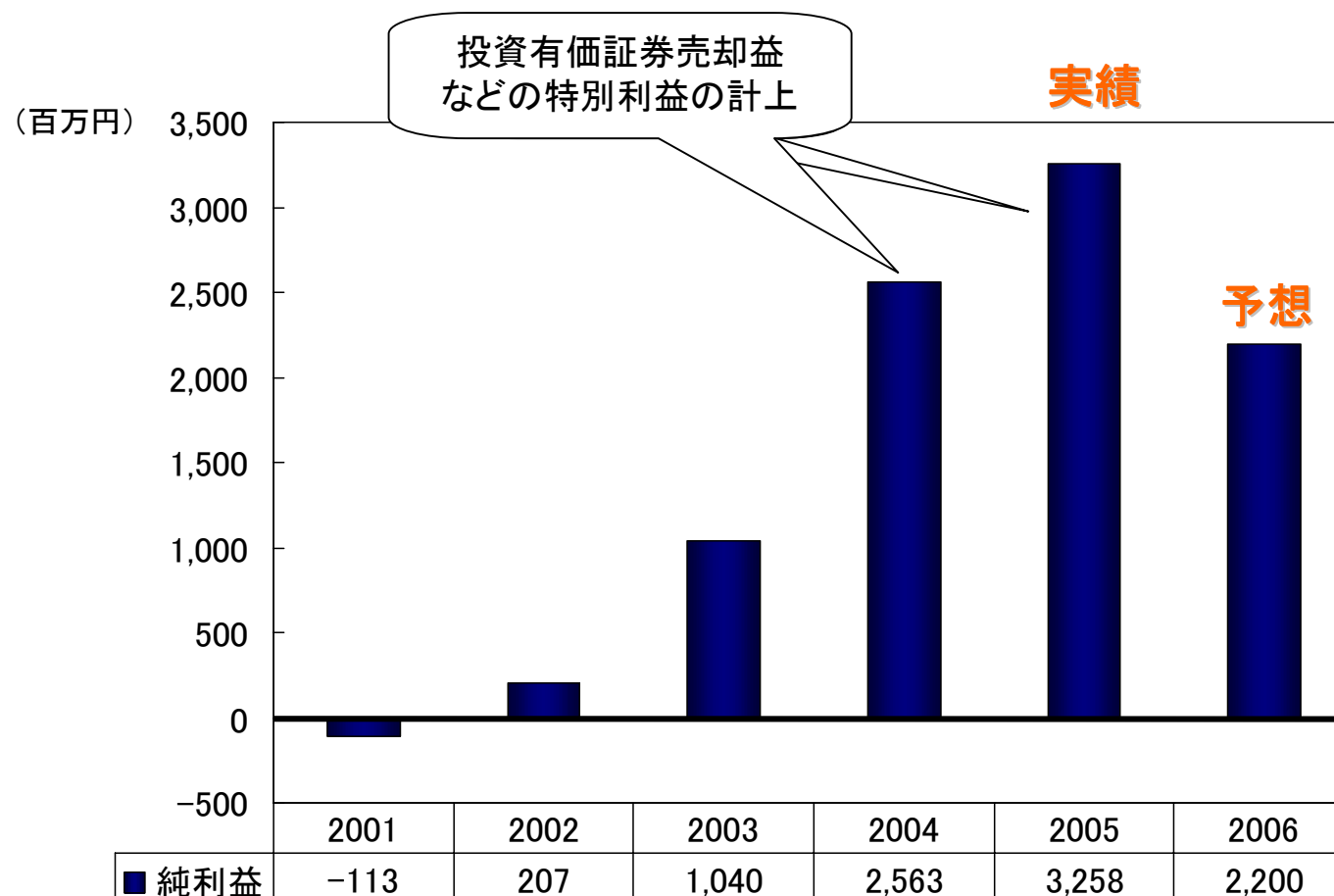
①ネットインフラ事業

②ネットメディア事業

③ネット金融事業

5.業績予想

## 当期純利益



すべての人にインターネット

